

令和 6 年 1 2 月 1 8 日

令和 6 年千葉市教育委員会会議第 1 2 回定例会

[議案書]

千葉市教育委員会

令和６年第４回千葉市議会定例会について

教育総務部総務課

１ 会 期 １１月２６日～１２月１３日

１１月２９日	議案質疑
１２月 ２日	教育未来委員会
１２月 ４日、５日	代表質問
１２月 ６日～１２日	一般質問
１２月１３日	委員長報告、討論、採決

２ 提出議案等の審議状況

（１）令和６年度千葉市一般会計補正予算（第５号）

【令和６年教委議案第１８７号】

（２）工事請負契約について（千葉市立稲毛国際中等教育学校大規模工事（その２））

【令和６年教委議案第１９０号】

（３）議決事件の一部変更について（千葉市立稲毛国際中等教育学校大規模改造工事（その１））に係る工事請負契約）

【令和６年教委議案第１９１号】

（４）議決事件の一部変更について（千葉市立稲毛国際中等教育学校大規模改造電気設備工事（その１））に係る工事請負契約）

【令和６年教委議案第１９２号】

※（１）～（４）については、教育未来委員会の審査を経て、１２月１３日の本会議において可決された。

３ 議案質疑・代表質問・一般質問

（１）議案質疑（現に議題となっている事件について、議案に係る提案理由説明を受けた後、討論、採決に入る前に、その疑義を質すために行う発言）

議案質疑を行った１人が教育委員会に関する質疑を行った。

（２）代表質問（議員が会派を代表し、本市の行政全般にわたり、執行部に対し、事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、又は疑問を質す発言）

代表質問を行った４会派全てが教育委員会に関する質問を行った。

※主な項目 ・教員不足について

- ・教職員の長時間労働の解消について
- ・第２期ＧＩＧＡスクール構想に向けた環境整備について
- ・教育センターの今後について（移転計画等）
- ・資産老朽化対策について（社会教育施設の改修の考え方）
- ・教育現場の合理的配慮について
- ・新年度予算編成について（給食費無償化関係ほか）
- ・教職員職場の現状について（人員配置、教員採用候補者選考）
- ・学校体育館エアコン設置について

(3) 一般質問（議員個人が、本市の行政全般にわたり、執行部に対し、事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、又は疑問を質す発言）
一般質問を行った26人のうち14人が教育委員会に関する質問を行った。

- ※主な項目
- ・公民館整備について
 - ・不登校対策について
 - ・いじめについて
 - ・タブレット端末と学習機について
 - ・小中学校と地域連携について（地域の行事等のチラシ配布）
 - ・学校施設について（体育館エアコン整備、学校施設の修繕）
 - ・通学路の安全確保について
 - ・多様な学びについて（夜間中学、不登校対策、自由進度学習ほか）
 - ・人権教育における拉致問題について
 - ・改正民法の本市への影響について（学校行事の案内）
 - ・防災訓練と避難所の改善について
 - ・ジェンダー問題の視点について
 - ・生物多様性の認知向上、啓発について（加曽利貝塚博物館における取組）
 - ・外国語指導助手（ALT）について

１ 目的

千葉市学校教育の課題及び今日的教育課題の解明を図るため、指定された課題や各学校が設定する研究主題の調査・研究にあたり、その成果をもって本市教育の向上に資する。

２ 研究報告会について

開催日	学校名	研究主題及び報告会の概要	参加人数
11月14日 （木）	源小学校 【学習指導】 （国語）	【研究主題】自分の考えをもち、学び合う児童の育成 －「読むこと」における「個の学習」と「協働的な学習」の往還を通して－ 【概要】参集による開催 研究主題解明に向け「児童が主体的に課題に取り組み、考えをもつための工夫」「児童が考えを深めるための工夫」「児童が学びを振り返り、自分を評価するための工夫」という３つの視点をもった授業実践に取り組んだ。課題解決に向けた見通しをもたせ自分の考えをもつ支援を充実させたこと、交流が必要な課題を設定することで個の学習と協働的な学習の往還をしたこと、振り返りの観点を明確にしメタ認知を促進したことにより、児童が主体的に学習に取り組み自身の考えを広げたり、深めたりすることができた。	97人
11月15日 （金）	真砂西小学校 【教育課題】 （キャリア教育）	【研究主題】人間力を高め、よりよい自己実現を目指す児童の育成 －一人との関わり合いの中で自分の「つよみ」を実感し、生かすことのできるキャリア教育－ 【概要】参集による開催 教師が児童の様々な「つよみ」を価値付けることで、児童は自分のよさに気付き、主体的に活動へ取り組んでいた。また、児童が様々な人と関わり、友達と協働して学習を進めたことで、自分の「つよみ」に自信を深めたり、新しい「つよみ」に気付いたり、友達のよさやなりたい自分の姿をイメージしたりすることができた。教師がキャリア教育の視点をもって指導し、児童のよさを認め価値づけていくことで、児童は自己肯定感を高め、よりよい自己実現を目指そうとする姿が見られた。	114人
11月22日 （金）	平山小学校 【教育課題】 （算数）	【研究主題】「わかる」「できる」を実感し、主体的に学ぶ子供の育成 －考えをつないで学ぶ算数科教育を通して－ 【概要】参集による開催 「自らつながり考えをもつ工夫」を通して、一人一人が進んで自分に合った解決方法を選択できるようにするとともに、「友達とつながり考えを広げたり深めたりする工夫」を通して、協働的に学ぶ中で考えを深めていけるよう、授業実践に取り組んだ。 学習内容や発達段階、学級の実態により、「既習とつながる方法」や「発問の精選」「意図的な問い返し」などを工夫することで、子どもたちが問題解決の見通しをもって、主体的に学ぶ姿が見られた。 また、全体会後に分科会を行い、上記の２つの視点を中心とした協議を行うことで、内容の充実を図ることができた。	107人

11月29日 (金)	あやめ台小学校 【特別支援教育】	【研究主題】互いに認め合い、生き生きと学ぶ子どもの育成 ーユニバーサルデザインの考え方を取り入れた安心感のある学級・学校づくりを通してー 【概要】参集による開催 研究主題の解明に向けて、「安心感」をキーワードに、「環境の安心感」「チームワークの中にある安心感」「関わりの中にある安心感」の3つの視点で、学習、生活環境の整備に取り組んだ。また、独自のアセスメントシートを作成して、学習上のつまづきやその要因を分析し、学習参加を高める具体的な手立てを講じた学級活動の授業実践を行うことで、児童が安心して主体的に学習に取り組む姿が見られた。さらに、記念講演では、通常学級におけるユニバーサルデザインについて学びを深めた。	92人
12月13日 (金)	高浜第一小学校 【国際理解教育】	【研究主題】国際社会で生きるために、多様な文化・価値観をもつ人々と共生できる子どもの育成 ー新たなシンフォニーを奏でる近未来の教室ー 【概要】参集による開催 これまで行ってきた日本語指導や、国際理解につながる実践が更に充実するよう整理をしながら研究を進めてきた。学校教育全体を通して、「互いの考えや文化を認め合える授業の工夫（相互理解）」、日本語指導教室では「基礎的・基本的な日本語が習得できる授業の工夫」の視点を設定し、各学級で指導・助言・支援を行った。実態をもとに資料や教材・教具を作成したり、ICTの活用やイラスト、実物を用意したりと様々な手立てを通して、日本語の力が不十分であっても、皆と課題について共有認識をもち、思考する姿が見られた。オーケストラで異なる様々な楽器が音を出し合い協和していくように、多様な文化や価値観をもつ子どもたちが互いのよさを見付け、認め合う姿につながった。	70人

令和6年教育委員会会議第12回定例会 座席表（教育委員会室）

